

第30回放射線画像情報システム研究会



拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび「第30回放射線画像情報システム研究会」を、ハイブリッド形式（現地およびオンライン）にて開催する運びとなりました。今回のテーマは、「備える：Be prepared！」です。医療現場は急速な変化と多様な課題に直面しています。自然災害、経営危機、技術革新、今どう“備える”べきか。今回の研究会では、災害対策から経営改善、最新ガイドラインまで、現場で役立つ知見を共有します。さらに、記念すべき第30回大会として、情報交換会も併催。学びと交流を通じて、医療の未来を切り拓く一日となることを願っています。 敬具

— 記 —

日 時：令和8年2月21日（土）14時00分～17時15分（受付開始13時30分）

場 所：ハイブリッド開催 現地：福岡大学病院 臨床小講堂 + Web

参加費：500円

*研究会および情報交換会はパスマーケットより参加申し込みをお願いします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02efighbcmu41.html>

参加QRコード



テーマ「備える：Be prepared！」

プログラム

開会あいさつ 放射線画像情報システム研究会をふりかえる

1. 講演 自然災害に備えよう

「熊本地震から10年を経て再考する医用画像BCP

—冗長性設計とクラウドPACSで備えるレジリエンス強化—

熊本大学病院 池田 龍二 代表世話人

2. 今あるもので備えよう「医療情報学会報告（2演題）」若松重良

3. 情報提供 EIZO

4. 医用モニタハンズオンセミナー（新ガイドラインに備えよう）

「医用画像表示用ディスプレイ管理：新モニタと長時間使用モニタの利き比べ」EIZO株式会社

5. 講演 経営危機に備えよう（医療経営への貢献）

「診療の”その先”にある価値を見出す

～診療放射線技師が取り組んだ最適化と改善の実践～

岡崎市民病院 医療技術局 放射線室総合研修センター兼務 阪野 寛之 氏

医療情報技師（25-102：1ポイント）、医用画像情報専門技師（K25-053：2ポイント）、
医療画像情報精度管理士（202523：6カウント）

放射線画像情報システム研究会 HP <http://rmiis.kenkyuukai.jp/> FB <http://www.facebook.com/rmiis2001>

世話人：柿本信二（かとうクリニック）、吉武貴康（株式会社トーカーワークス）、阿部一之（元・純真学園大学）、松原隆敏（熊本大学病院）、若松重良（鹿児島大学病院）、西村美幸（九州国際重粒子線がん治療センター）

主催：放射線画像情報システム研究会 後援：熊本県放射線技師会、鹿児島県放射線技師会

問い合わせ先：鹿児島大学病院 若松：wakamats@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp